



医療産業情報

<http://www.sangyo-times.jp/ir/>

発行所 **産業タイムズ社**

本社 千101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-5 TMMビル3階
TEL.03 (5835) 5891 (代) FAX.03 (5835) 5491
大阪支局 千540-0028 大阪市中央区常盤町2-3-16 高木産業ビル
TEL.06 (6945) 0491 (代) FAX.06 (6910) 2075
福岡支局 千812-0011 福岡市博多区博多駅前2-19-17 トーカン第五ビル
TEL.092 (471) 6780 (代) FAX.092 (461) 0128
ソウル/上海

禁無断転載・翻訳 <編集・発行人> 泉谷 渉

2016年(平成28年) 4月1日(金曜日) 第2126号

シリーズ

地域医療再生レポート

東急不動産、シニア住宅と分譲マンションの複合大規模開発を17年春開業 介護/自立計251戸と介護事業所や多世代交流拠点を整備、複合2弾は横浜市十日市場

3

病院施設整備

4

八雲総合病院、リハビリ・透析・外来の改修工事を委託、17年3月竣工.....	4
仙台医療センター、新病院3工事委託、救急・高度医療・災害がコンセプト.....	5
公立置賜長井病院、16年度に病棟の耐震診断、移転改築の可能性も.....	5
福島労災病院、全面改築事業で16年度は基本構想策定作業.....	6
南魚沼市 CCRC 構想、7月までに基本計画策定へ、19年度に整備完了.....	6
霞ヶ浦医療センター、改修で地域包括ケア病棟導入、将来の改築につなげる.....	6
埼玉県、順天堂大附属病院誘致の用地取得に63億円を計上、17年度着工.....	7
総合メディカル、越谷市レイクタウンに病院建設、4月着工予定.....	7
住友不動産、東京・晴海三西地区で7月から新病院を建設、テナント導入.....	8
東京都、医療・福祉系特定建築物は28件、東大や慶大など大学系が5病院.....	8
横浜市立市民病院、診療棟など4棟で構成、施設規模は7階延べ6.3万㎡.....	10
島田市民病院、新病院設計を内藤建築事務所に委託、整備手法は今夏決定.....	11
半田病院、新病院は16年度に基本計画策定、整備場所や事業費を具体化へ.....	11
金沢医大、中央診療棟17年5月完成へ着工、集学的がん治療・リハなど.....	12
野洲市、新病院の開発支援業務を委託、基本設計は7月にプロポ公告.....	12
近畿中央胸部疾患C、建替工事は材質変更し再公告、開札は5月13日.....	13
兵庫県、姫路の新統合病院は16年度基本計画、742床で腫瘍C・ER救急 _13	
兵庫県立2病院跡、 愛仁会の新病院開院、塚口の杉安病院は準備工事を開始 _____ 14	
瀬戸内市の長島愛生園、総合診療棟の3工事委託、検査・手術など診療集約.....	15
四国がんセンター、リニアック棟の増築を計画、6月に基本設計が完了.....	15
国立長崎病院、病棟建て替え工事Ⅱ期の入札を公告、17年度完成へ.....	16
熊本市、16年度に市民病院建て替えの方向性を改革プランで提示.....	16
大分県立病院、大規模改修1期工事を公告、予定価格は14.7億円.....	16

ニュースフラッシュ/公告

17

◇「介護老人施設・老人ホーム計画一覧 2015-2016」好評発売中.....	2
◇「病院計画総覧 2015年版」好評発売中.....	24

東急不動産、シニア住宅と分譲マンションの複合大規模開発を17年春開業

介護／自立計251戸と介護事業所や多世代交流拠点を整備、複合2弾は横浜市十日市場

東急不動産㈱(東京都港区南青山2-6-21、Tel.03-5414-1099)は、東京都世田谷区でシニア住宅と分譲マンションの複合開発を行う「世田谷中町プロジェクト」を推進している。シニア住宅は251戸、分譲マンションは252戸を設置する大型プロジェクトとなり、東京都の「一般住宅を併設したサービス付き高齢者向け住宅整備事業」の第1号案件に選定されている。介護事業所、認可保育所も併設し、多世代に住み心地がいい『街』を目指し、2017年春から順次開業する。

同事業の計画地は東京都世田谷区中町5-21のNTT玉川中町社宅跡地で、敷地面積は約1万坪。大規模開発の強みを生かして、居住者専用のシャトルバスを運行する。近くの駅まで送迎するため、シニアにとっては利便性が高い施設となる。15年秋に着工しており、4月上旬にモデルルームなどがある世田谷中町サロンをオープンする。

同事業の特徴は、多世代交流。同社はこれまで高齢者住宅事業を展開しており、その中で、親子それぞれの世帯が近居したくても物件がないなど

の課題があった。今回、一般住宅と高齢者住宅を併設することで、同じ街区内に住むことを実現し、介護離職の防止、様々な年代の人が交流する街づくりが期待できる。

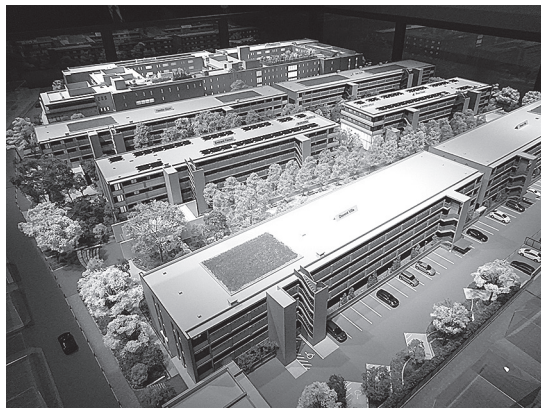
高齢者住宅の「グランクレール世田谷中町」の規模はRC造り4階建て延べ1万7723m²。自立型の居室と介護型の居室に分かれており、自立型のシニアレジデンスは176戸、介護型のケアレジデンスは75戸、計251戸を設置する。開業はシニアレジデンスが17年7月、ケアレジデンスは同年10月を予定。

一般住宅の「プランズシティ世田谷中町」はRC造り地下1階地上4階建て延べ2万4002m²。252戸を設置し、開業(引き渡し)は17年3月および同年9月を予定。

同施設には多世代交流拠点として『コミュニティプラザ』を設置するのも大きな特徴だ。同施設の1階では介護予防体操などのライフサポートプログラムを提供する。また、1～2階には17年4月以降に認可保育園を開設し、高齢者住宅の入居



世田谷中町プロジェクトのモデルルーム



世田谷中町プロジェクトのイメージ(高齢者住宅と一般住宅が併設する)

者との交流プログラムも予定する。

1階と3階は介護事業所として「定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所」「看護小規模多機能居宅介護事業所」を併設し、シニアが安心して暮らしていけるようにする。

3階はカルチャールームとして茶道教室、音楽教室などを行う。シニアは学ぶ側の生徒だけでなく、教える側の先生にもなることができ、居住者同士の交流を促進する。

同社はこれまでも高齢者住宅において、コミュニティスペースを設置していたが、居住者向けに限られていた。今回は居住者だけでなく地域住民が幅広く利用、交流することを想定して、地域包括型の施設を目指す。

このほか、エリア内で夏祭りなど季節ごとのイベントを開催するほか、敷地内のピザ窯を囲む料理教室など様々なプログラムを提供して住民同士のコミュニティを創出する。

今後、一般住宅と高齢者住宅の複合開発の第2弾として横浜市の「十日市場プロジェクト」が決定している。高齢者住宅約200戸、一般住宅約290戸に加え、戸建て住宅を整備する。同施設内には地域住民も利用できる食堂など整備し、より多くの人が利用できる施設とする。

また、複合開発だけでなく、シニア住宅のみの開発も積極的に行っていく計画。複合開発においては広大な敷地が必要になるが、単一施設であれば開発が比較的しやすい。今後、首都圏を中心に整備を進める。

さらに将来的にはリゾート地への進出も検討する。リゾート地の別荘は高齢者が保有することが多く、何らかの事業展開を構想していくという。

病院施設整備

八雲総合病院、リハビリ・透析・外来の改修工事を委託、17年3月竣工

北海道八雲町は、八雲総合病院（二海郡八雲町東雲町50、Tel.0137-63-2185）のリハビリ、透析室、外来などの改修を行う。建屋の改修は夏ごろに完了し、外構工事、解体工事など全体を含めた改修は2017年3月20日に竣工する。施工は黒島・吉川・小澤電設異業種特定建設工事共同企業体(契約金額6億1412万400円)が担当している。

同病院では、15年12月に建設・稼働した中央棟(新本館)に続き、既存棟を改修するもので、改修は北棟(RC造り4階建て延べ2673m²)と南棟(S造り延べ4593m²)を中心に行う。北棟は中央棟に移管した病棟スペースを管理諸室にするほか、透析室の内外装を改修する。また4階の屋外に避難階段を新設する。

南棟は1階の整形外科の外来などを眼科、歯科の外来に改修する。このほか、精神科棟病棟の建具の改修や電気錠の設置などを行う。

夏以降に外構工事、旧本館棟の解体工事を行う。解体後は一部をロータリーとして使用するほか、緑化や駐車場として利用することを検討している。

なお、同病院は中央棟を建築主体、電気設備、機械設備一括で岩田地崎・黒島・千釜・八雲製材・樺電・館脇・岩越・山内・池田・三河・蜂谷・西谷異業種特定建設工事JVが施工した。

中央棟の規模はRC造り6階塔屋1階建て延べ約1万m²で、157床を設置した。フロア構成は1階に受付、診察室、CT、MRIなど、2階に検査、手術室(3室)など、3～6階に病床を配置した。病

床数は削減しており、病院全体では計347床となる。

仙台医療センター、新病院3工事委託、救急・高度医療・災害がコンセプト

国立病院機構 仙台医療センター（仙台市宮城野区宮城野2-8-8、Tel.022-293-1111）は、「国立病院機構仙台医療センター建て替え等整備工事」を建築、電気設備、機械設備に3分割して入札し、建築に熊谷組JV、電気設備に日本電設工業JV、機械設備に三菱冷熱工業JVを選定した。最終完成工期は2018年度を予定している。

新病院は、施設の老朽化が顕著になっていることから移転新築するもの。建設地は現地南側の宮城野区宮城野2-11-6（宮城野原公園総合運動場宮城自転車競技場跡地など）。設計は久米設計で、施設規模は病院本館がSRCおよびRC造り11階建て延べ約5万9218m²、付帯棟がSRC、RCおよびS造り平屋建て延べ約2405m²。新病院の病床数は660床（うち精神病床32床）で、1日あたりの外来患者数は約900人を想定している。

また、新築工事に合わせ、延べ6万4450m²の既存病院施設の解体を行うほか、現在地に残る看護助産学校棟や食堂棟、宿舍棟および臨床研修医宿舎に必要な熱源、インフラ整備を行う。

工期は約36カ月以内で、最終完成工期は2018年度を予定している。

新病院建設に際しては、救急医療体制の強化、地域への貢献、患者に優しく働きやすい病院、高度医療に対応した最新システムの導入、災害に強い病院の5つのコンセプトを掲げている。

なお、仙台医療センターでは、東北大学病院とのドクターヘリ共同運航に備えて、基地病院としての施設整備が進んでいる。

公立置賜長井病院、16年度に病棟の耐震診断、移転改築の可能性も

公立置賜長井病院（山形県長井市屋城町2-1、Tel.0238-84-2161）は、2016年度に診療管理棟の一部改修工事を行う。あわせて病棟部分における耐震診断を行う計画で、結果によっては移転、改築などを実施する。

同病院の建屋は旧長井市民総合病院の施設を引き継ぎ、診療管理棟（RC造り3階建て延べ8570m²、1982年建設）、北病棟（同6階建て延べ8843m²、65年建設）、南病棟（同2階建て延べ1763m²、69年建設）の3棟が稼働している。

このうち診療管理棟が耐震診断の義務付け対象となる「要緊急安全確認大規模建築物」に該当し、耐震診断を鈴木建築設計事務所を実施した。その結果、工事不要との診断結果が出たため16年度に同施設の一部改修工事を実施する。

また、同病院では、残る北病棟、南病棟における耐震診断を16年度で実施する計画であり、耐震工事および改築が必要との判断が出た場合、これに対応する工事を実施する方向。

同病院は、山形県ならびに長井市、南陽市、川西町および飯豊町で構成する組合組織で運営を行っており、今後、移転改築も視野に入れて予算、機能面、ベッド数などを考慮し、検討を進めることになる。

同病院は診療科目9科（内、精、外、整、脳外、婦、眼、耳、リハ）、病床数110床で、長井市をはじめとする西置賜地域の中核病院として機能している。

福島労災病院、全面改築事業で16年度は基本構想策定作業

福島労災病院(福島県いわき市内郷綴町沼尻3、Tel.0246-26-1111)は、施設の老朽化に伴う病院の全面改築を計画しており、2016年度は前年度に引き続き基本構想の策定を進める方針である。

同病院の施設は、敷地面積約3万9000m²に、6階建ての本館、4階建ての北棟、2階建ての管理棟の3棟で構成し、延べ床面積は約2万8000m²。このうち本館を除き約半分を占める北棟、管理棟は1955年当時の建屋であり、老朽・狭隘化などが進んでいるため、全面改築する。

病院では、久米設計の支援により15年度から基本構想の策定作業を行っている。30～40年の長期を見据えた病院経営を目指し、移転を含めてあらゆる方面から検討するため、16年度も継続して基本構想策定作業を進める。

同病院は、診療科目が12科(内、呼、消、循内、心内、外、整、眼、耳、皮、泌、産婦)で病床数は406床。地域がん診療連携拠点病院の指定を受け、いわき地区におけるがん医療の中心的な役割を担っている。

南魚沼市CCRC構想、7月までに基本計画策定へ、19年度に整備完了

南魚沼市(新潟県南魚沼市六日町180-1、Tel.025-773-6660)は、「南魚沼版CCRC構想 連携事業者選定方針及び事業推進計画(素案)」をまとめた。これに続き、3月末から7月にかけて基本計画を策定する。あわせて5月末～10月末に事業計画を策定し、住宅整備などを行う連携実施事業者を8月～10月末に選定する。連携実施事業者は11月から事業に着手し、全体の整備は

2019年度に完了する。

南魚沼版CCRCのコンセプトとして、南魚沼の地理、気候、歴史、産業などの資源の活用や、国際大学との連携により、既存住民との共生による「グローバル・コミュニティ」を形成することを掲げている。

15年11月に同市におけるCCRC構想を策定しており、同計画では、国際大学や北里大学保健衛生専門学院などの教育機関と連携し、新設の住宅整備を前提とする。

さらに、新幹線駅、高速道路I.C.との近接性を活かし、大都市からの移住者シニア住宅の主たる入居者として想定する。

シニア住宅は3年(3期)に分けて整備し、1期として17年10月に50戸、2期として18年10月に50戸、3期として19年10月に100戸、計200戸を設置する。

整備場所は、上越新幹線浦佐駅、大和SIC、国際大学、魚沼基幹病院、北里大学保健衛生専門学院、国際情報高校、大和中学校、浦佐小学校、浦佐温泉、越後ワイナリー、八色の森公園などを含むエリアを想定。

このほか、国際大学における留学生家族寮30戸やミドル・ロングステイ20戸、魚沼基幹病院のスタッフ寮100戸などを整備する。また、移住定住コンシェルジュや市民交流施設の設置を検討する。

霞ヶ浦医療センター、改修で地域包括ケア病棟導入、将来の改築につなげる

国立病院機構 霞ヶ浦医療センター(茨城県土浦市下高津2-7-14、Tel.029-822-5050)は、老朽化している病院の全面改築に向け、2017年度から基本構想策定作業に着手する。その前提となる

経営健全化を図るべく市原工務店の施工により病棟の改修工事を行い、38床の地域包括ケア病棟を導入する。

同病院は、現有施設の大半が完成後40年以上を経過し老朽化しているため、全面改築を計画している。病院では、できるだけ早期に実施する意向だが、慶應義塾大学の医局の撤退で医師確保が厳しい状態であること、入院患者の確保の問題などから、まずは経営の安定化を最優先とする。

このため、12年4月には土浦市や筑波大学の協力のもと「筑波大学附属病院土浦市地域臨床教育ステーション」を立ち上げた。良質な医療の提供と医師の確保に努め、医師の増員を図り、「土浦市地域臨床教育センター」として機能の充実を図った。また、救急医療に積極的に取り組むなど入院患者増で稼働率アップに努めている。

一方、許可病床250床のうち実稼働が212床であるため遊休の38床を活用し、地域包括ケア病棟を導入する。このため3月15日の開札で決定した市村工務店の施工により6月15日をめどに西3病棟の改修工事を行い、7月からの稼働により黒字化を図る。

病院ではこれらの施策が順調に進めば全面改築する考えで、17年度にも基本構想を策定する意向である。

なお、同病院の診療科目は18科(内、呼、消、循、小、外、形、呼外、皮、泌、産、眼、耳、放、歯、口、心外、麻)、病床数は250床。

埼玉県、順天堂大附属病院誘致の用地取得に63億円を計上、17年度着工

埼玉県(さいたま市浦和区高砂3-15-1、Tel.048-824-2111)は、さいたま市と共同で同市緑区に順天堂大学附属病院を誘致する計画で、

2016年度予算案に建設用地取得などに向けて63億874万円を計上した。建設地は約7.3haで、全3区画のうち2区画をさいたま市、残る1区画を県が取得する方針。なお、県は工事費400億円のうち、半分の200億円を負担する計画で調整している。

病院建設地は、さいたま市緑区と岩槻区にまたがる一帯(みそのウイングシティ内、約7.3ha)、UR都市機構が施工する土地区画整理事業地内の一部で、埼玉高速鉄道の浦和美園駅から約1kmのところ。

県と市は用地取得のほかにも、新病院に設ける医療機能の調整、医師の派遣などでも大学を支援する。

施設規模は未定だが、病床数は800床を計画。病院のほかに大学院医学研究科を設置するほか、看護学部の併設も検討している。具体的なスケジュールは未定だが、17年度内の着工を求めており、完成は20～21年度を見込んでいる。

総合メディカル、越谷市レイクタウンに病院建設、4月着工予定

総合メディカル(株)(福岡市中央区天神2-14-8、Tel.092-713-7611)は、埼玉県越谷市に病院を建設する。設計は㈱現代建築研究所が担当。着工は4月上旬を予定している。

建設地は越谷市レイクタウン5-13-6ほか。東埼玉道路の上り沿いで、イオンレイクタウンmoriとJR武蔵野線に挟まれたところ。周辺は高層マンション、戸建て住宅、店舗などがある好立地。

敷地は約2597m²、建築面積は約885m²で、施設はS造り3階建て延べ約2545m²を想定している。診療科目や病床数などは未定。

同社はコンサルティングをベースに医業経営の

トータルサポートを行っており、医療モールの開発なども手がける。商業施設型ではららぽーと富士見内の「メディカルモール富士見」(埼玉県富士見市)、介護関連施設併設型医療モールは、「メディカルヒルズ香里ヶ丘」(大阪府枚方市)など多様な展開を行っている。

住友不動産、東京・晴海三西地区で7月から新病院を建設、テナント導入

住友不動産(株)(東京都新宿区西新宿2-4-1、Tel.03-3346-1054)は、このほどマンションの大規模免震ツインタワー「ドウ・トゥール(DEX TOURS)キャナル&スパ」が完成した、晴海三丁目西地区第1種市街地再開発区域内(東京都中央区)で新病院を建設する。

新病院は、地下1階地上6階建て延べ3500m²の規模を想定しており、7月から着工し、2017年12月に竣工する予定で、病院を運営するテナントは未定であるとしている。

周辺を含め、大規模な再開発、マンション開発が続いており、地域住民の利便性を高めるために病院を新築することに決めた。ロケーションは、東京オリンピックの選手村建設予定地にも近い。

なお、地上52階建て高さ180mのツインタワーのドウ・トゥールキャナル&スパは、総戸数1450戸で、幅15mの巨大な浴槽を備えた広さ約200m²の「サウナ付大型スパ」、43階に広さ約150m²の「ビューラウンジ&バー」、コミュニティを育む「キッズルーム&ペアレンツサロン」などを備える。

東京都、医療・福祉系特定建築物は28件、東大や慶大など大学系が5病院

東京都における最近の建築物環境計画書制度に基づく医療・福祉施設系の特定建築物は、以下のとおり。▽建築主(所在地)＝建築物の名称(建設地、建物延べ床面積など、着工時期/工事完了時期、設計/施工)の順。

▽(仮称)(福)喜清会(東京都葛飾区奥戸3-24-11)＝(仮称)特別養護老人ホームスマイルホーム西井堀(葛飾区奥戸3-351-1ほか、6909m²、3月12日/17年1月31日、NC設計/ー)

▽(医)社団 明芳会(東京都板橋区小豆沢2-12-7)＝(仮称)イムス葛飾中央総合病院(葛飾区西新小岩4-18-1、1万5187m²、1月20日/17年2月28日、清水建設/清水建設)

▽東武鉄道(株)(東京都墨田区押上1-1-2)＝(仮称)曳舟駅ビル(墨田区東向島2-88-1の一部ほか、9645m²、14年12月15日/17年3月31日、大林組/大林組)

▽(福)吉祥福寿会(埼玉県蓮田市大字閏戸1885)＝(仮称)特別養護老人ホーム木下川・吾亦紅(墨田区東墨田2-15-13、6790m²、2月15日/17年1月25日、アライ設計/ー)

▽(医)社団 同愛会病院(東京都江戸川区松島1-42-21)＝同愛会病院(江戸川区松島1-42-21、9968m²、14年2月15日/18年7月31日、現代建築研究所/ー)

▽一般社団法人 巨樹の会(佐賀県武雄市武雄町大字富岡12628)＝(仮称)江東リハビリテーション病院(江東区北砂2-23-1、1万3362m²、15年11月10日/17年2月28日、平建築設計事務所/熊谷組)

▽(福)聖風会(東京都足立区花畑4-39-10)＝(仮称)特別養護老人ホーム第二足立新生苑(足立区花畑4-20-1、9755m²、15年3月31日/5月31日、

メドックス/一)

▽勝どき五丁目地区市街地再開発組合(東京都中央区勝どき2-10-4) = 勝どき五丁目地区第一種市街地再開発事業施設建築物新築工事(B1街区)(中央区勝どき5-1400、16万1697m²:うち病院等2520m²、13年9月1日/11月30日、鹿島建設/鹿島建設)

▽(福)恩賜財団済生会支部東京都済生会(東京都港区三田1-4-17) = 東京都済生会中央病院新主棟(港区三田1-4-17、3万250m²、15年2月1日/18年2月1日、鹿島建設/鹿島建設)

▽品川区(東京都品川区広町2-1-36) = (仮称)上大崎三丁目高齢者福祉施設(品川区上大崎3-316-3、7893m²、15年11月1日/17年3月31日、伊藤喜三郎建築研究所/一)

▽(福)洛和福祉会(京都府京都市伏見区桃山町大島38-528) = (仮称)特別養護老人ホーム洛和ヴィラ春日の郷(文京区春日1-23、5659m²、15年12月18日/17年1月31日、メドックス/白石・ヤマムラ建設共同企業体)

▽(学)日本医科大学(東京都文京区千駄木1-1-5) = 日本医科大学付属病院(文京区千駄木1-59-2ほか、5万9868m²、11年3月29日/18年12月31日、大成建設/大成建設)

▽(学)順天堂(東京都文京区本郷2-1-1) = 順天堂大学キャンパス・ホスピタル再編事業(仮称)B棟(文京区本郷2-1-1、4万5090m²、11年12月15日/3月31日、清水建設/清水建設)

▽東京大学(東京都文京区本郷7-3-1) = 東京大学医学部附属病院病棟(II期)(文京区本郷7-1-1、4万218m²、14年1月8日/17年3月31日、佐藤総合計画/鹿島建設)

▽(学)慶應義塾(東京都港区三田2-15-45) = 慶應義塾大学病院1号館(新病院棟)(新宿区信濃町35-1、7万4536m²、14年3月1日/19年10月31日、竹中工務店/竹中工務店)

▽渋谷区(東京都渋谷区宇田川町1-1) = (仮称)旧本町東小学校跡地複合施設(渋谷区本町3-46、1万53m²、15年11月1日/18年1月31日、増沢建築設計事務所/一)

▽(学)東邦大学(東京都大田区大森西5-21-16) = (仮称)東邦大学医療センター新大橋病院(目黒区大橋2-22および世田谷区池尻4-1、3万1434m²、15年11月1日/17年9月30日、佐藤総合計画/東急建設)

▽東京都健康長寿医療センター(東京都板橋区栄町35-2) = 東京都健康長寿医療センター(板橋区栄町35-7、6万1571m²、11年2月21日/11月1日、佐藤総合計画/戸田建設)

▽(福)ハッピーネット(埼玉県さいたま市西区大字中野林字中郷650-1) = (仮称)総合ケアセンター若葉ゆめの園(板橋区若葉3-15-1、7383m²、14年10月1日/18年1月31日、アライ設計/一)

▽法務省(東京都千代田区霞が関1-1-1) = (仮称)新営工事矯正医療センター管理医務病棟他(E)(昭島市築地町・中神町の一部、3万6880m²、14年12月1日/17年2月17日、法務省/一)

▽府中駅南口第一地区市街地再開発組合(東京都府中市寿町1-5-1) = 府中駅南口第一地区第一種市街地再開発事業施設建築物(府中市宮町1-100、1万2228m²:うち病院等3911m²、13年12月1日/17年3月20日、INA新建築研究所/清水・京王・横沢建設共同企業体)

▽国家公務員共済組合連合会立川病院(東京都立川市錦町4-2-22) = 立川病院(立川市錦町4-2-22、2万8458m²、15年9月1日/18年3月31日久米設計/大林組)

▽(福)至誠学舎立川(東京都立川市錦町6-28-15) = (仮称)至誠第二特養ホーム(立川市錦町6-28-15、7897m²、15年11月1日/12月25日、クン・プロダクト一級建築士事務所/フジタ)

▽(株)ヘルスケア・ジャパン(東京都千代田区九段

北4-3-1) =サンシティ立川昭和記念公園(立川市砂川町2-71-1、5万1708m²、15年3月2日/18年4月27日、浅井謙建築研究所/前田建設工業)

▽(社医) 社団 健全会(東京都立川市錦町1-16-15) =立川都市軸A1南地区プロジェクト病院棟(立川市緑町4-1、1万8737m²、14年10月1日/8月31日、戸田建設/一)

▽(医) 財団 聖蹟会(埼玉県桶川市坂田1726) = (仮称) 多摩落合一丁目計画(多摩市落合1-37-1、1万8501m²:うち病院等1万3325m²、現代建築研究所/一)

▽(医) 社団 充会(東京都八王子市上川町785) = (仮称) 多摩平の森の病院(日野市多摩平3-1-17、5178m²、3月15日/17年3月25日、連設計/一)

▽(福) 徳心会(東京都青梅市成木2-44) =あゆみえん(青梅市新町9-2026-3、9179m²、15年3月30日/5月10日、楠山設計/東亜建設工業)

横浜市立市民病院、診療棟など4棟で構成、施設規模は7階延べ6.3万m²

横浜市(Tel.045-671-4820=医療局病院経営本部)は、現在推進中の横浜市立市民病院(横浜市保土ヶ谷区岡沢町56)再整備事業において、新病院の基本設計を明らかにした。新病院は7階建て延べ6万3710m²となり、診療棟、管理棟、利便施設棟、エネルギー棟で構成する。

市は三ツ沢公園の一部と民有地の計2万9423m²を病院敷地に転換して新病院を整備する。道路で分けられた2つの敷地に対し、神奈川区側に診療に係る主な機能を集約した診療棟、ロータリー、生活利便施設、エネルギー棟、西区側に管理棟を配置する。

診療棟はS一部SRC造り地下2階地上7階建てで、免震層となっている地下2階は駐車場、待合

室、リネン室とする。地下1階には内視鏡部門、放射線治療部門、画像診断部門、外来部門、救命救急センター、小児外来部門、薬剤部門、栄養部門、防災センター、感染外来部門、核医学部門など、地上1階には検査部門、化学療法部門、外来部門、がん検診センター、患者総合サポートセンター、検体検査・輸血部門、整理検査部門などを配置する。

2階には集中治療室、救急病棟、透析部門、手術室、ICU・CCU、細菌検査部門、アンギオ室、CE室などを配置する。3階はリハビリ部門、研修室、循環器病棟、一般病棟、4階は産科病棟、一般病棟、分娩室、NICU・GCU、5階は一般病棟、小児病棟、6階は血液内科病棟、一般病棟、7階は感染症病棟、一般病棟、緩和ケア病棟となる。

管理棟はS造り4階建てで、1～2階は駐車場、1階に保育室、2階に院内学級、3階に当直室、事務室、更衣室、医局・図書室、病歴室、4階に看護部、講堂、サーバー室を配置する。3階部分の渡り廊下で診療棟と接続する。

生活利便施設は地下1階地上2階建てで、地下1階に救急ワークステーション、地上1階に店舗、2階に食堂・ラウンジなどを配置する。

病床数は650床(一般536床、IC・CCU14床、救命救急病棟28床、NICU・GCU21床、緩和ケア病床25床、感染症病床26床)を計画。診療科目は現行33科を維持しつつ機能に応じた再編を検討している。

整備スケジュールとしては、2016年度に実施設計を進め、17～19年度に建設し、20年度の開院を目指す。施工者選定については、17年度早期に行う予定。移転後に現病院を除却して跡地に野球場を建設する。

島田市民病院、新病院設計を内藤建築事務所に委託、整備手法は今夏決定

島田市立島田市民病院（静岡県島田市野田1200-5、Tel.0547-35-2111）は、新市立島田市民病院の基本設計業務委託に係る公募型プロポーザルを行い、1次審査で選定した6者の中から内藤建築事務所を最優秀者に決定した。委託上限額（税込み）は1億100万円。履行期限は2017年3月24日まで。

基本計画によると、新病院は病床数445床程度、1床当たり面積の目標値を80m²とし、延べ床面積は約3万5600m²（既存の救急センター約2000m²含む）。階層は7～8階建てとなる。建物構成は、1～2階に薬局、SPD、厨房、機械室など供給部門、外来部門、1～3階に救急、検査、放射線、手術など診療部門、3階に医局など管理部門、4階以上は病棟、屋上はヘリポートの設置を想定している。実際の建物構成は設計の段階で決める。

整備手法は従来方式、DB方式、ECI方式が挙がっており、3月時点では検討中としている。同病院によると、今夏など早い段階で決定する考え。なお、いずれの整備手法でも20年の開院を目指す。

半田病院、新病院は16年度に基本計画策定、整備場所や事業費を具体化へ

半田市立半田病院（愛知県半田市東洋町2-29、Tel.0569-22-9881）は、病院の将来的な再整備に向け、2015年の7月、10月、12月、16年1月にあり方検討委員会を開催した。市長への答申や議会への報告を行い、基本構想案として公表し、パブリックコメントの手続きを開始、基本構想の成案をまとめた上で、16年度に基本計画を策定す

る。費用1600万円を当初予算に計上しており、基本計画策定支援業務は、基本構想策定支援業務を担当したアイテックに委託する。

検討委員会は、第2回までに基本構想（素案）をまとめて公表し、その後の2回は整備場所なども協議したため非公開となっている。基本構想案では、現在地と移転のケースを比較した工期や事業費のシミュレーションなども行っているもようで、パブリックコメントを反映した基本構想成案をまとめ、16年度に基本計画を策定する。最も順調に運ばば、17～18年度に設計、19年度から着工し、2～3年で開院となる。

基本構想（素案）では、高度急性期を中心とした急性期医療を担い、がん医療、循環器医療（脳血管・心臓）を重点的に強化する。救急医療、災害医療、周産期・小児医療などの政策的医療については、公立病院として現在果たしている役割を継続する。総病床数は400床程度を目安とし、現状の診療科を踏襲する以外に、血液内科や緩和ケアの充実を継続する。

重点機能では、地域の救命救急医療の「最後の砦」を担うため、救命救急センター病床と高機能病床（ICU・CCUなど）の機能を分化し、高度急性期病床の高回転化を図り、さらに、ドクターカー、DMATの維持継続を挙げている。

災害医療では、災害拠点病院（地域中核災害医療センター）として、ヘリポートを敷地内に設置するほか、施設の免震化やライフラインの二重化、周産期・小児医療においては、集中治療機能を計画する。地域連携では、公立西知多総合病院、常滑市民病院との新たな連携強化に取り組む。

重要疾病への対応としては、がんでは、がん診療連携拠点病院として、予防から手術、放射線療法および化学療法を効果的に組み合わせた集学的がん医療を強化し、緩和ケア病棟を設置する。また、臓器別・疾患別の診療体制の整備（内科・外科

の連携強化、センター化)を検討する。内視鏡下手術などの低侵襲治療の強化・充実(ダヴィンチなどロボット手術の実施)の検討や、術後重症患者に対する集中治療機能を強化する。

脳卒中・急性心筋梗塞については、3次救急医療機関として、脳梗塞や脳出血、急性心筋梗塞、大動脈瘤の治療を迅速かつ確実に提供する。さらに、循環器センターや脳卒中センターなどの設置により、最新かつ最良の診断と治療、内科的治療と外科的治療、リハビリテーションをより効率的に提供するための体制を計画するとともに、ICU、CCU、SCUなど高度専門集中治療機能の強化・充実、脳血管や心臓カテーテル治療の強化・充実を図る。

また、血管内治療と外科手術を手術室で実施できる「ハイブリッド手術室」の設置を検討する。

半田病院は、1980～82年に新築工事、85～86年に外来棟増築工事、89年～91年に管理棟増築を行っている。外来診療棟はRC造り2階建て、中央診療棟はRC造り4階建て、病棟はSRC造り7階建て、管理棟はRC造り4階建てとなっている。05年度に救命救急センターを開設、07年度に病棟耐震・リニューアル、08年度に立体駐車場を整備し、11年度に電子カルテが稼働、12年度から地域医療支援病院となっている。

病床は一般499床、診療22科(内、消内、呼内、腎内、糖・内分、循内、心外、精、小、外、血外、整、脳外、皮、泌、産婦、眼、耳、リハ、放、麻、歯・口外)を運営。

金沢医大、中央診療棟17年5月完成へ着工、集学的がん治療・リハなど

金沢医科大学病院(石川県河北郡内灘町大学1-1、Tel.076-286-3511)は、中央診療棟の建設を

計画しており、4月から大林組で着工する。完成は2017年5月を目指す。

同工事は、第1次5カ年計画の病院改築事業の最終工事となるもので、建設用地を確保するため、旧病院本館(13階建て)を15年に約1年間かけて解体した。跡地に新たな中央診療棟を建設する。

施設規模はS造り地下2階地上5階建て延べ1万9605m²(建築面積4612m²)。

1階は診療受付カウンターや受診相談機能、書店、花屋、売店、オープンカフェを配置。3階までを吹き抜け構造の入り口ホールとする。玄関前には、大型バスが進入できる大型キャノピー(天蓋)を設置する。

2階は集学的医療部と集学的がん治療センター、3階はリハビリテーションセンターを設置して病棟と接続する。4階には600人を収容する講堂を設置し、学会や講演会、入学・卒業式など多目的に利用する。設計は中島建築事務所(石川県金沢市)が作成した。

同病院の診療科目は37科で、病床数は835床となっている。

野洲市、新病院の開発支援業務を委託、基本設計は7月にプロポ公告

野洲市(滋賀県野洲市小篠原2100-1、Tel.077-587-6141=地域戦略室)は、先ごろ開かれた議会において、新病院「(仮称)野洲市立病院」に関する予算案を賛成多数で可決した。同案は開設支援業務と基本設計業務の2つで構成。今後は7月ごろに基本設計のプロポーザルを公告し、2016年秋に設計者を選定する方針だ。

可決されたのは、新病院に関する費用として、開設支援業務の委託料と基本設計業務の委託料となる。予算額は開設支援業務が2572万3000円、

基本設計業務は5496万7000円。

開設支援業務の内容としては、人事システムの素案作成や人員配置の見直しなど、病院の運営面に関する業務を行う。また、基本設計の発注方式も決める方針で、設計・施工一括方式やECI方式など、最善の方法を比較・検討する。同業務は2016年度早々に委託し、委託期限は17年9月を予定している。なお、基本設計は16年7月ごろにプロポーザルを公告し、16年秋に設計者を選定する方針だ。

15年10月に提示した見直し案によると、新病院の病床数は199床とし、そのうち一般病床に100床、回復期病床に50床、地域包括ケア病床に49床を充てる。診療科目は9科目(内、小、外、整、婦、泌、眼、リハ、人析)を標榜している。病院施設等の設定に関しては、延べ床面積1万4925m²を想定し、駐車場は250台を整備する。

病棟は個室と4床室を基本とし、重症用個室は4室程度を用意。透析ベッドも15ベッド程度を想定し、手術室は3室を整備する。病院施設整備等費用は87億6800万円を見込んでおり、そのうち、建設工事費は53億7300万円となっている。新病院の整備基本計画策定支援業務は㈱システム環境研究所 大阪事務所、整備基本計画精査支援業務は㈱病院システムが担当。

近畿中央胸部疾患C、建替工事は材質変更し再公告、開札は5月13日

国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター(堺市北区長曾根町1180、Tel.072-252-3021)は、病棟等建替整備工事を計画しており、先ごろ、同工事(建築)の一般競争入札を再公告した。再公告にあたって工事の材質を変更しており、工期は約34カ月以内(最終完成工期は2018年度を予定)。

4月6日まで申請書および資料の提出を受け付けており、開札は5月13日を予定している。

計画によると、現在使われていない南病棟を解体し、その跡地に新病棟を建設。新病棟の完成後、北病棟と東病棟を解体し、西病棟は減築工事および改修工事を行う。規模は新病棟がS造り8階建て延べ約1万500m²、西病棟はRC造り4階建て延べ約3500m²(うち1階部分の延べ約730m²が対象)を想定している。

フロア構成として、新病棟は1～7階が病棟で、1階に40床、2～7階には各50床を整備。8階は機械室となる。病床数は340床を想定し、診療科目は現行の19科目(内、心内、精、呼、循、アレ、外、整、呼外、乳外、血外、気食、リハ、放、歯、麻、感内、腫内、緩内)を維持する。基本・実施設計および工事監理は㈱山田総合設計が担当した。

同工事の機械は新日本空調㈱(落札価格は税別8億7500万円)、電気は三和電気土木工事㈱(同7億3800万円)が落札している。整備計画としては、まず南病棟の解体工事を終え、新病棟の建設に着手。新病棟の完成後、北病棟および東病棟の解体工事や、西病棟の減築・改修工事を行う方針だ。新病棟の着工時期は明らかにしていないが、解体・改修工事などを含め、18年度の完成を目指している。なお、今回の工事は第I期であり、第II期として外来管理診療棟の建設も計画している。

兵庫県、姫路の新統合病院は16年度基本計画、742床で腫瘍C・ER救急

兵庫県(神戸市中央区下山手通5-10-1、Tel.078-362-9169=病院局企画課)は、「兵庫県立姫路循環器病センター」と「(社医)製鉄記念広畑病院」の統合再編計画を含む「姫路における県立病院のあり方に関する検討報告書(案)」を公表

した。

新統合病院の建設予定地は、姫路駅前のカスティ21(姫路駅前再開発事業)のうち東側のゾーン約3万m²の一部を活用する方針で、土地所有者の姫路市と調整を進めている。新統合病院は、県が主体となって整備運営する。病床数は2病院の病床を合わせた742床(姫路循環器350床、広畑病院392床)を基本とし、今後の基本計画で定める。診療科は、中播磨・西播磨医療圏域の中核病院として、2病院の診療科を引き継ぎつつ、専門診療科も設置する方向で検討するほか、疾患に対応可能な救急医療を行うため未設置の診療科も設置する。なお、各分野の専門医については医師派遣を行う各大学と協議していく。

2病院にない新規診療および既存診療の拡充では、5疾病における①腫瘍センターの設置(がん疾患への集学的治療の実施や外来化学療法、緩和医療、放射線治療の設置など)、②24時間365日専門的治療の充実、③SCUとSUの設置、④外来リハビリの充実、⑤糖尿病センターの充実、⑥身体合併症を持つ精神疾患患者への対応、⑦認知症に関する治療や臨床実験の充実、救急医療における①ER型救命救急医療の充実、②外傷系の一次救急への対応強化のほか、兵庫県ドクターヘリの運航、在宅医療の支援、感染症への対応強化、観光などの外国人への医療提供配慮などを挙げている。

今後のスケジュールは、検討報告書を踏まえて2016年度より基本計画に着手する。基本計画では新統合病院の建物規模、病床数、診療科目、導入機能、スケジュールなどを盛り込む予定で、4月にも指名提案競技(指名型プロポーザル)を行い、基本計画策定業務を委託する見通し。委託費は県の16年度予算案に1000万円を計上している。

17年度的设计、18～20年度の工事、21年度

の開院を想定している。

兵庫県立2病院跡、愛仁会の新病院開院、塚口の杉安病院は準備工事を開始

2つの兵庫県立病院の統合による各病院跡地で、それぞれ病院としての活用が進んでいる。(社医)愛仁会(大阪市北区豊崎3-2-1、Tel.06-7711-0915=病院準備室)は、兵庫県立尼崎病院の跡地事業として新病院「尼崎だいてもつ病院」を4月1日に開設した。塚口病院跡地では、(医)謙誠会の杉安病院の移転に向け、事業者の三菱レジデンスグループが、既存建物の解体を進めている。

兵庫県は、県立病院の尼崎病院と塚口病院を別の場所で統合新築し「兵庫県立尼崎総合医療センター」(730床)として、15年7月に開院。旧両病院跡地について事業者コンペを実施し、尼崎病院跡地を愛仁会グループ、塚口病院跡地は三菱地所レジデンスグループが活用することになった。

尼崎だいてもつ病院の病床数は199床で、兵庫県立尼崎総合医療センターの後方支援病院として回復期リハビリ病棟や地域包括ケア病棟などを設置。新病院は、尼崎病院跡地(尼崎市大物町1-66-1)1万7930m²において、病院の既存建物を改修して開設した。改修は、病院本館ほか4棟延べ3万3341m²を対象に行い、一部を解体した。工事はフジタが担当した。

新病院の診療科は、内科、整形外科、リハビリテーション科を予定。病床数は199床で、回復期リハビリ病棟、地域包括ケア病棟、障がい者病棟を設置する。また、通所リハビリテーション、在宅サービスセンターも併設した。

続いて、今後は敷地の南側に6階建ての建物を新設し、介護老人保健施設(100床)、サービス付き高齢者向け住宅(60戸)を整備する予定。これ

らは17年春の完成を目指している。

塚口病院跡地(尼崎市南塚口町6-160、敷地8923m²)では、事業者の三菱レジデンスグループが既存建物の解体に2月から着手した。計画によると、敷地の西側に6階建ての建物を新設し、(医)謙誠会が杉安病院(尼崎市、129床)の移転を予定している。ここには、現在跡地の周辺で謙誠会が運営している在宅総合支援センターやクリニックも集約する見通しで、18年4月の供用開始を目指している。

また、敷地の東側では、三菱地所レジデンスが高齢者配慮型の集合住宅となる8階建ての分譲マンション(111戸)を整備する予定。18年3月の入居開始を目指している。

瀬戸内市の長島愛生園、総合診療棟の3工事委託、検査・手術など診療集約

国立療養所長島愛生園(岡山県瀬戸内市邑久町虫明6539、Tel.0869-25-0321)は、園内にて総合診療棟の新設を計画しており、建設工事、機械設備工事、電気設備工事をそれぞれ一般競争入札した。結果は、建設工事が税込み12億1824万円で中国建設工業株、機械工事が同5億5620万円で三建設備工業株、電気工事が同3億2400万円で旭日電業株に決まった。2018年3月の完成を目指している。

計画では、園内にある既存の診療棟や治療棟などを集約および建て替えるため、新たに総合診療棟を建設する。

総合診療棟の建設場所は、第5不自由者棟を解体した跡地となる。規模は、RC造り5階建て延べ6759m²(建築面積1962m²)を想定。1階に外来部門、2階に検査部門、手術部門、医局など、3～4階に病棟を設ける。

このほか、今回の建設工事には、S造り平屋建て延べ23m²の医療ガス棟の新設と、第5不自由者棟など既存施設約720m²の解体工事一式も含まれる。

総合診療棟の基本設計は、厚生労働省官房会計課施設整備室、実施設計は、あい設計が担当した。

長島愛生園は、ハンセン病患者、元ハンセン病患者の療養および生活施設として運営。園内に、診療棟、治療棟、老人精神センター病棟(認知症など)、治療センター病棟(人工透析)、第1病棟(混合病棟)、不自由者棟(計7棟)、一般舎(軽症者地区)のほか、看護学校、職員住宅などが整備されている。

診療科は内、心内、外、整、皮・ハンセン病、泌尿、産婦、耳、歯、眼、放を標榜し、薬剤、研究検査、リハビリテーション室や義肢装具室も設けており、15年1月3日時点で213人が入所している。

四国がんセンター、リニアック棟の増築を計画、6月に基本設計が完了

国立病院機構四国がんセンター(愛媛県松山市南梅本町甲160、Tel.089-999-1111)は、放射線部門のリニアック装置に加え、新たに1台を導入するため、リニアック棟の増築を計画している。先ごろ、同棟増築整備工事の基本・実施設計および工事監理業務委託の一般競争入札を公告。すでに競争参加資格申請書の受け付けを締め切っており、開札は4月7日を予定している。

委託する業務の内容は、リニアック棟の増築の基本・実施設計、工事監理業務で、履行期間は設計期間が契約締結の翌日から10月28日までを、監理期間は11月1日から17年5月31日までを予定している。リニアック棟はRC造り2階建て延べ約210m²の規模を想定し、リニアック装置を1

台新規に導入するほか、説明室や準備室なども設ける方針だ。これにより、同センターのリニアック装置は2台から3台に増える。なお、前述の設計期間のうち、基本設計業務は6月に完了させる予定だ。

同センターは1889年に陸軍病院として創設され、1979年9月に「国立病院四国がんセンター」に名称を変更した。病床数は405床で、内訳は一般376床、緩和ケア25床、ICU4床となっている。診療科目は呼吸器内科や消化器内科など、20科目を標榜。最近は「地域医療連携研修センター」や「患者・家族総合支援センター(暖だん)」などを開設している。

国立長崎病院、病棟建て替え工事Ⅱ期の入札を公告、17年度完成へ

国立病院機構 長崎病院(長崎市桜木町6-41、Tel.095-823-2261)は、病棟など建て替え整備工事(建築Ⅱ期)の一般競争入札を公告した。申請書を4月8日まで受け付け、5月13日に開札する。工期は約15カ月以内で、最終完成工期は2017年度とする。

同事業は、病棟をRC造り5階建て延べ約9644m²規模で新築するほか、延べ2629m²を改修、既存建物の解体を行う。設計は山下設計が担当した。

同病院の診療科目数は11科(内、呼、小児など)で、病床数は280床(一般200床、重度心身障害児者80床)で運営している。

熊本市、16年度に市民病院建て替えの方向性を改革プランで提示

熊本市は、市立熊本市市民病院(経営企画課、熊本市湖東1-1-60、Tel.096-365-1711)の改革プランを2016年度に策定する予定であり、このなかで病院建て替えの方向性を明示する方針である。

現施設は耐震性に問題があり、当初は現在地(敷地面積1万4055m²)で診療を続けながら15年度から3期6カ年事業で新棟を建設する方針だった。規模はS・SRC造り地下1階地上12階建て延べ4万8150m²(設計は梓設計・硯川設計JV)を計画していたが、建設費が高騰したため事業費が当初計画の133億円から約1.6倍の209億円に膨らむことになった。15年度に着工予定だったが、15年1月に延期を表明。さらに想定外の事業費支出は建て替え実施後の健全な病院経営につながらないと判断し、同年12月にはゼロベースで計画見直しを決めた。

新基本計画策定に当たり、16年度に策定する病院改革プランのなかで、病院建て替えの方向性を示し、公的機関としての市民病院の位置づけや役割を改めて整理する。また、470床としていた病床数の削減や診療科目の削減を検討し、現在地から移転の可能性も視野に入れることになる。

大分県立病院、大規模改修1期工事を公告、予定価格は14.7億円

大分県は、大分県立病院(大分市大字豊饒476、Tel.097-546-7111)の大規模改修工事を計画しており、このほど1期工事の一般競争入札を公告した。総合評価方式を採用しており、技術資料などの申請を4月12日まで受け付け、5月11日に開札する。予定価格は14億7235万円(税別)。工

期は2018年7月31日までとしている。

改修工事は、既存病棟本館(SRC・S造り地下1階地上10階建て延べ3万8640m²)の8852m²を対象とする。具体的なエリアとしては、病棟部分(3階、4階、6～10階)西側の改修工事、2階の手術部、厨房、外壁タイルなど。基本設計は梓設計、実施設計は伊藤喜三郎建築研究所がそれぞれ担当した。

同病院は1992年8月に現在地に全面移転し、築後23年が経過して施設の老朽化が進んでおり、施設改修、医療機能拡充、空調設備の更新などの大規模改修を6カ年程度かけて実施する。病棟東側の改修となる2期工事は、18年度に入札公告を予定している。

同病院の診療体制は診療28科(内、外、小など)、病床578床(一般566床、感染12床)で、地域中核病院の一つ。

ニュースフラッシュ／公告

■パナソニック、電子版お薬手帳の共有支援

パナソニックヘルスケア(株)(東京都港区)は、電子版お薬手帳の情報(服用情報)を、全国の医師、薬剤師、または家族などと共有でき、閲覧できるポータルサイト「chk4.me(チェックフォーミー)」を4月1日に立ち上げた。

このサイトにより、電子版お薬手帳アプリの利用者は全国の医師、薬剤師、または家庭など、見せたい人にだけ自分の意思で服用情報の共有ができるようになった。また、服用情報を閲覧する人は、利用者のスマートフォン端末を預かることな

く、だれでもアクセス可能なポータルサイト上で簡単に確認ができる。

お薬手帳は、患者が服用中の医薬品に関する理解を深めるとともに、医療関係者が副作用などを把握できるため、電子版の手帳についても4月から診療報酬算定上でも紙の手帳と同様の評価を受けるなど、普及が促進されている。

■富士ゼロックス、北三陸ネットが稼働開始

富士フイルムグループの富士ゼロックス(株)(東京都港区)は、特定非営利活動法人北三陸塾(所在地:岩手県久慈市)とともに、医療／介護／福祉領域におけるさまざまな情報の連携、およびバックアップを行い、サービスの向上を目指す情報基盤「北三陸ネット」を構築、3月より稼働した。

高齢化が進む日本において、国の政策としても在宅療養のサービスや利便性向上が重視されるなか、地域における医療や看護、調剤、介護、福祉など、異なる職種間の連携がより必要とされている。また、災害時にもスムーズな医療／介護／福祉サービスを提供するには、情報をバックアップしておくことが重要となる。

「北三陸ネット」は、こうした課題を解決することを目的に、久慈医療圏4市町村(岩手県久慈市、洋野町、野田村、普代村)の病院／診療所(内科・歯科)／調剤薬局／介護施設／福祉施設(地域包括支援センターなど)、計67施設をつなぐシステムとして構築された。

北三陸ネットに参加する各施設内で作成される情報を電子化し、施設間をつなぐ安全なネットワークからプライベートクラウドへ格納することで、情報のバックアップが行われると同時に、各施設が相互に情報を閲覧できるようになる。共有する情報には、同意書により賛同した住民の診療記録や保険薬局の調剤履歴、紹介状、介護・福祉現場のケア記録、在宅診療や訪問診療、訪問介護

時のメモや連絡事項などが含まれ、情報連携がスムーズに行えるようになることで、各施設におけるサービスの質の向上を目指す。これまで紙媒体で記録や保管することが多かった情報を電子化しバックアップすることで、災害にも強い地域づくりに貢献するとしている。

システム構築の背景として、久慈医療圏は久慈市など4市町村をカバーしており、市民が安心した生活を送るためには、医療や介護、福祉などの異なる施設の職員が、利用者の健康状態、薬の服用状況などの情報を共有することで、切れ目のないサービスを提供することが課題となっていた。

こうした背景のもと、医療／介護／福祉に携わる職員を中心とした意見交換・情報共有の場をつくり、在宅および施設入所者を含む地域全体の療養や介護が必要な人を、関係機関が連携して支援する体制づくりを進めることを目的に、2014年10月にNPO法人 北三陸塾が発足した。北三陸ネットは、NPO法人 北三陸塾が運営している。

一方、富士ゼロックスはこれまで、東日本大震災の復興支援をきっかけに、岩手県遠野市において地域との連携／交流により地域社会の課題解決に向けたまちづくりを支援する「みらい創り」活動や、離島活性化を目指した新たな視点での「みらい創り」活動を富士ゼロックス長崎が中心となって展開するなど、同社のコミュニケーション技術を活用し、自治体や地域の団体、学校などと連携して社会的なニーズを把握し、地域社会と企業がともに成長できる姿の実現を目指して活動を継続していく。

久慈医療圏においては、医療や介護、福祉にわたる領域の地域課題解決の支援を目指したしくみを提供するとともに、今後も地方自治体、医療・介護領域など、地域ごとの異なるステークホルダーに対し、ドキュメントサービス&コミュニケーションの領域で課題解決策を提案していく。

■MCS、京都と横浜開設で計274事業所に

メディカル・ケア・サービス(株) (さいたま市大宮区大成町1-212-3、Tel.048-871-8000)では、3月31日に「愛の家グループホーム 京都桂」(京都市西京区桂上野東町135-1) および「愛の家小規模多機能型居宅介護 京都桂」、4月1日に「愛の家グループホーム横浜大倉山 (よこはまおおくらやま)」(横浜市港北区大倉山7-36-8) がオープンした。これにより、グループホームは241事業所、小規模多機能居宅介護10事業所、これらを含めた全事業所は全国27都道府県で274事業所となった。

また、4月1日には、三光ソフランホールディングスとの合同入社式を行った。このうち、メディカル・ケア・サービスの新入社員は137人(大学等新卒49人、高校新卒59人、フレキャリ採用29人)にのぼった。フレキャリとは、「フレッシュ」「キャリア」を組み合わせた造語で、同社が商標登録を行っている独自の新卒採用の取り組み。フレキャリ採用は、学校卒業後5年以内の若者であれば新卒とみなし、研修などで新卒同様のサポートを受けられるもので、学校卒業後アルバイトをしていた若者や、転職をして新たにスタートしたいという若者まで、幅広く受け入れている。

■恵庭市、17年春開業の認知症GH事業者募集

恵庭市(北海道恵庭市京町1、Tel.0123-33-3131)は、16年度整備分の認知症対応型共同生活介護(介護予防含む)の事業者を公募する。4月18日～5月17日に応募を受け付け、6月以降に事業者を選定する。整備数は1カ所で、定員は18人(2ユニット)。供用開始は17年3月を予定。

■あおば会、登米市に老人ホームを新設

(医)あおば会(宮城県登米市)は、登米市に老人ホーム(ケアハウス)の新設を計画している。

定員は29人。工期は12月28日までで、17年4月の開所を目指す。なお、施工者選定の公告に関する参加申請は3月24日で締め切った。

建設地は、登米市南方町鴻ノ木地内。敷地は3994m²で、施設は木造2階建て延べ約1331m²。同市が15年10月から募集を進めていた地域密着型特定施設入居者生活介護施設の運営、事業者と同法人が選定されたことから整備を行うもの。施設的设计は北星設計が担当。

■北信福祉会、伊達市の特養を松浦建工所で着工

(福)北信福祉会(福島市南矢野目字オノ後6-2、Tel.024-552-2466)は、福島県伊達市保原町字泉町9-1ほかに定員29床の地域密着型特養ホーム「ハッピー愛ランドほばら・いずみ」の新設を計画しており、松浦建工所の施工で近く着工する。

同事業は、伊達市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき地域密着型サービス施設の事業者の募集を行っていたもので、北信福祉会を事業者に決定した。

建設場所は、現在運営中している「ハッピー愛ランドほばら」に隣接。施設規模は木造2階建て延べ1530m²。完成は11月末を予定している。

■福島県、旧飯坂温泉病院解体を佐藤工業に決定

福島県病院局は、旧リハビリテーション飯坂温泉病院(福島市)の解体について入札公告を行った結果、施工者を佐藤工業に決定し、近く着工する。県立リハビリテーション飯坂温泉病院(福島市飯坂町字原口3)は、敷地面積約1万3500m²に施設規模がRC造り地下1階地上4階建て延べ約8300m²。県立病院改革で07年3月に閉院した。

建屋は1970年建設で築後45年を経過し、老朽化が進んでいることや東日本大震災の影響で危険な施設となっているため解体する。落札額は3億4700万円で工期は270日を見込んでいる。

解体後の敷地活用については、以前、福島市が保健福祉施設の建設を検討した経緯があるが、現在は未定となっている。

■富岡市、小規模多機能1カ所を募集中

富岡市(群馬県富岡市富岡1460-1、Tel.0274-62-1511(内)1482=高齢介護課介護保険係)は、小規模多機能型居宅介護(介護予防小規模多機能型居宅介護)の事業所1カ所を公募している。対象圏域は、中央地域(七日市、富岡、曾木、黒川、別保地区)で、応募書類の提出期限は4月15日。16年度中の着工および完成が条件。

■茂原市、地域特養ホームと小多機各1施設募集

茂原市(千葉県茂原市道表1、Tel.0475-20-1572=高齢者支援課高齢者支援係)は、地域密着型特養ホーム(定員29床)、小規模多機能型居宅介護(登録29人、宿泊9床)の事業各1施設の募集を開始した。3月31日に質問書のメール送付を締め切っており、4月15日まで公募を受け付ける。4月下旬に1次審査、5月上旬に2次審査を行い、5月中旬に事業者を決定する。地域密着型特養ホームは「茂原地区」、小規模多機能居宅介護は「本納地区」、「南地区」を整備優先地区と位置づけしており、同地区での整備の場合、採点時に加点対象とする。

■世田谷区、地域密着型とケアハウスの説明会

東京都世田谷区(Tel.03-5432-2411=高齢福祉課)は、4月7日午後2時から地域密着型サービス拠点、同日午後3時から都市型軽費老人ホームの各事業者説明会を開催する。開催場所は、いずれも世田谷区民会館集会室(世田谷区世田谷4-21-27)で、参加申し込みは必要項目を記入してファックスで送付する。

■板橋区、広域型特養ホームの事業者募集

板橋区(東京都板橋区板橋2-66-1、Tel.03-3579-2092=長寿社会推進課施設整備係)は、広域型特養ホームの事業者募集を開始した。質問の受け付け期限は5月6日、申込書の受け付け期限は5月20日、申請書類の提出締め切りは6月17日で、7月ごろに東京都協議書作成説明会を開催し、7月中旬の書類審査やプレゼンテーションで選定する。10月以降に補助協議計画書を提出し、17年8月の施設整備費補助内示を受けて、同年9月以降に着工し、19年1月に竣工、同年3月に開設する。施設は、特養ホーム(原則ユニット型)が定員30人以上110人程度で、その入所定員の1割以上の短期入所施設(ユニット型)と都市型軽費老人ホーム(定員5人以上20人以下)を整備する必要があるほか、福祉避難所の指定を受ける。

■老後を幸せにする会、世田谷区の特養新築委託

(福)老後を幸せにする会(東京都世田谷区等々力5-19-20、Tel.03-3703-9291)は、(仮称)深沢一丁目特別養護老人ホーム新築工事の入札を行い、委託先を15億1400万円(税別)の大日本土木に決めた。RC造り地下1階地上3階建て延べ5288m²の規模となり、定員96人、短期12人を確保する。建設地は世田谷区深沢1-29-4で、工期は17年3月21日、開設は17年6月を予定。

■久里浜医療センター、新病棟の設計監理を公告

国立病院機構久里浜医療センター(神奈川県横須賀市野比5-3-1、Tel.046-848-1550(内)321=企画課契約係)は、病棟新築整備工事基本・実施設計、工事監理業務委託の一般競争入札を公告した。参加表明書の提出期限は4月11日、技術資料の提出期間は4月14日から5月9日までで、5月2日に開札となる。業務内容は、病棟(構造形式は未定、4階建て約5450m²)新築の基本・実施

設計、工事監理業務その他で構成し、履行期間は設計が契約締結の翌日から17年7月31日まで、監理期間は11月18日から18年5月31日まで。

■小田原市、特養100人に10事業者が応募

神奈川県小田原市(Tel.0465-33-1876=福祉健康部高齢介護課)は、2種類の高齢者施設を整備する事業者を募集した結果、それぞれ複数の申し出があった。以下は、▽施設種別(開設時期・区域、募集数、申し出事業者数)の順。

▽介護老人福祉施設(17年4月～19年3月予定・市内全域、100床、10事業者)▽看護小規模多機能型居宅介護(16年7月～17年11月予定・市内全域、1カ所、2事業者)

介護老人福祉施設の区域は、原則として市街化区域であるが、市街化調整区域であっても応募可能とした。両施設とも、5月下旬に事業者を選定する。

なお、2月の選定で定期巡回・随時対応型訪問看護介護および小規模多機能型居宅介護の各サービスの事業者を選定された(福)小田原福祉会は、定期巡回・随時対応型訪問看護介護の「(仮称)潤生園東部ホームヘルプサービス」の開設は当初予定の4月1日だが、小規模多機能型居宅介護「潤生園みんなの家たじま」(登録定員29人)は当初予定の10月1日を17年2月1日に変更している。整備予定地は、それぞれ第11圏域の同市田島1205と同市田島1176-1。

■座間市、GH事業者を日本アメニティライフに

座間市は、17年3月1日開設予定のグループホームの整備事業者に、応募5者の中から(株)日本アメニティライフ協会を選定した。整備場所は座間市南栗原で、定員は2ユニット18人。

■津市の洗心福祉会、診療所併設小多機能を開設

(福) 洗心福祉会(三重県津市本町26-13、Tel.059-222-7700)は、「(仮称)第二美杉小規模多機能型居宅介護施設シルバーケア豊壽園」および「(仮称)美杉クリニック」を4月に開設する。クリニックは外科、内科、リハビリテーション科を診療。小規模多機能は介護予防の機能を含む。施設は、木造平屋建て649m²の規模となる。建設地は津市美杉町下之川字村。

■加賀市の萌和会、サ高住30戸を6月オープン

(福) 萌和会(石川県加賀市深田町口2-1、Tel.0761-75-2100)は、サ高住「(仮称)ゆいふる山中」の新設を計画している。規模は木造平屋建て1493m²で、内部に居室30戸、トレーニングセンター、地域交流センターなどを設置する。三和建設(加賀市)の施工で5月末の完成、6月の開所を目指す。設計はKOA建築計画事務所(石川県金沢市)。

山中温泉医療センター敷地内(加賀市山中温泉上野町)で建設するもので、同温泉医療センターが4月の統合新病院「加賀医療センター」(加賀市作見町)開院に伴って閉鎖されることから、同温泉医療センター療養病床の入院患者への対応策として新たにサ高住を設置することにした。

■東大阪市、広域型特養ホームはかわち野福祉会

東大阪市(大阪府東大阪市荒本北1-1-1、Tel.06-4309-3185=高齢介護課)は、広域型特別養護老人ホームの整備事業者を募集し、先ごろ、(福)かわち野福祉会を選定した。6~7月に施工の入札を行い、8月に着工し、17年9月ごろの開設を予定している。整備予定地は東大阪市長瀬町1で、延べ3247m²の規模を想定している。定員は60人で、短期入所(定員20人)も併設。

■日本イーライリリー、神戸市に新本社ビル建設

医薬品を扱う日本イーライリリー(株)(神戸市中央区磯上通7-1-5、Tel.078-242-9000)は、拡大した組織に対応するため、本社ビルの拡張を計画。これに伴い現本社の隣接地に新本社ビルを建設する予定で、18年3月の竣工を目指す。

新本社ビルの建設地は、神戸市中央区磯上通5で、現本社ビル(三宮プラザビル)の隣接地となる。規模は、現在よりも約3割拡張させる見通しで、延べ約1万6000m²を見込む。

同社は、15年度に主力製品である抗精神病薬・双極性障害治療薬「ジプレキサ」が対前年比2.1%の伸長、販売網を一本化した「サインバルタ」が69.8%の伸長を達成するなど、業績が伸びている。

■川西市、友朋会など特定施設の2法人選定

兵庫県川西市は、特定施設入居者生活介護の2事業者を選定した。以下は、▽法人名(事業開設予定地、整備予定数)の順。

▽(福)友朋会(川西市清和台東2-4-32ほか、30人)
▽かえで住宅販売(株)(川西市火打1-6-13、28人)

■岡山県矢掛町、老健施設80人の新風会を選定

岡山県小田郡矢掛町は、老人保健施設の事業者として、(医)社団 新風会を選定した。同会は、矢掛町横谷で、定員80人の施設「リハヴィラ ポルソ矢掛」を整備する。

■山口市、認知症デイのあんのメディカル選定

山口市は、認知症対応型通所介護(介護予防を含む)1カ所(定員12人)の事業者として、(有)あんのメディカルを選定した。整備圏域は鴻南(吉敷・平川・大歳)。

■福岡県、16年度以降に特養など計8施設開設

福岡県下では、特養ホーム6施設、老人保健施

設と特定施設各1施設の新増設が行われ、16年度以降に開設する。以下は、▽設置主体(理事長、所在地、連絡先)＝施設名(設置予定地、工事区分、定員、開設年度)の順。施設種別は、まもる会が老人保健施設、戸早学園が特定施設(有料老人ホーム)で、ほかは特養ホーム。

▽(福)敬愛会(末松正幸、古賀市新原840、Tel.092-942-6000)＝(仮称)みどり苑宗像(宗像市河東字福崎の前1062-1ほか、創設、50人、17年度)

▽(福)高邦福祉会(高木邦格、柳川市上宮永町284-2、Tel.0944-86-7171)＝(仮称)おおかわ桐花苑(大川市中木室字934ほか、創設、50人、16年度)

▽(仮称)(福)春鶯会(辻村公人、田川郡香春町大字中津原字百畝1113-12、Tel.0947-32-8866)＝(仮称)香春公和苑(田川郡香春町大字中津原字百畝1113-12、創設、60人、17年度)

▽(福)鷹羽会(永原仁美、田川郡大任町大字今任原3485-1、Tel.0947-63-3352)＝グッドライフ(田川郡大任町大字今任原3486-1、増床、30人、17年度)

▽(福)なのみ一枝会(小川精一、中間市大字上底井野1832、Tel.093-243-5515)＝垣生の里(中間市大字上底井野786-1ほか、増床、30人、16年度)

▽(福)まもる会(松山英治、築上郡築上町湊1275、Tel.0930-57-1110)＝(仮称)青海山荘ユニット棟(築上郡築上町湊1277-3、老健増床、28人、17年度)

▽(福)朝老園(今村孝義、朝倉郡筑前町朝日586、Tel.092-926-1171)＝(仮称)朝老園ふくしま(朝倉郡筑前町東小田字脇田1108-1、移転改築(一部)、30人(既存150人のうち30人)、17年度)

▽(学)戸早学園(戸早秀暢、京都郡苅田町大字上片島1575、Tel.0930-26-2610)＝(仮称)介護付有料老人ホームかんだんて(京都郡苅田町大字与原

20-2(仮換地番号)創設、混合型50人、16年度)

■福岡県小竹町、17年度整備特養60床を募集

小竹町(福岡県鞍手郡小竹町大字勝野3349、Tel.09496-2-1219(内)124＝福祉課高齢者福祉係)は、17年度に創設特養ホーム(60床)を整備する事業者を募集している。応募申込書の提出期限は4月15日で、4月18～28日の事前審査を経て、応募書類を5月13日17時15分までに提出する。その後、5月下旬に実施するプレゼンテーションにより協議事業者を選定する。

■福岡県鞍手町、特養ホーム60人の事業者募集

鞍手町(福祉人権課高齢者支援係、福岡県鞍手郡鞍手町大字中山3705、Tel.0949-42-2111)は、17年度整備の広域型特養ホーム1施設(定員60人、ユニット型)の事業者を募集している。3月31日に応募書類の提出を締め切っており、4月11～28日に書類審査とヒアリングを行い、5月に事業予定者を選定する。8月以降に福岡県による整備計画適否の決定を受け、17年4月以降の補助内示を受けて着工する。

■資料提供招請(3月18～25日)

最近の資料招請の公表は以下のとおり。▽調達機関＝品目および数量(調達方法、説明会、資料の提供期限、導入予定時期)の順。▽釧路労災病院＝人工透析装置1式(借入、一、5月9日、16年度第3四半期以降)▽国立病院機構 東埼玉病院＝病院情報システム1式(購入、一、4月22日、17年11月1日)▽岐阜大学＝放射線治療システム1式(借入、4月5日、5月9日、16年度3月以降)▽九州大学＝ハートセンター生理検査システム1式(購入、4月5日、5月10日、15年度1月以降)▽国立病院機構 鹿児島医療センター＝数量SPD業務委託1式(購入、4月4日、5月10日、17年4月

1日～20年3月31日)

■最近の意見招請(3月18～25日)

最近の意見招請の公示は以下のとおり。▽調達機関＝品目および数量(調達方法、説明会、意見

の提出期限)の順。▽国立保健医療科学院＝研究情報ネットワークシステムの更改に係る構築、賃貸借及び運用保守1式(一、一、4月13日)▽福井大学＝磁気共鳴画像診断システム1式(購入、4月7日、4月22日)

入札公告(医療機器・備品・委託業務、16年3月18～25日)

導入施設	物品名・数量(調達方法)	説明会開催日	入札書受領期限	開札日	納期/借入期間
厚生労働省労働基準局(担当官が指定する場所)	診療費等請求書入力方法のシステム化に係るアプリケーションプログラム改修等業務1式(平成28年度)(一)	3月30日	5月13日	5月16日	5月17日～17年3月24日
国立保健医療科学院(入札説明書による)	厚生労働科学研究成果データベースシステムに係るシステム設計・開発業務、賃貸借および保守1式(一)	4月12日	5月25日	5月26日	5月26日～20年9月30日
社会保険診療報酬支払基金(入札説明書による)	医療保険者等向け中間サーバー等の費用に係る請求支払・収納管理システム1式(一)	4月1日	5月10日	5月20日	入札説明書による
国立病院機構 北海道がんセンターほか165病院	北海道・東北(1道6県)に所在する国立病院機構病院が使用する医薬品1739品目(購入)	4月7日	5月11日	5月11日	6月1日～8月31日
	関東・信越(1都9県)に所在する国立病院機構病院・国立高度専門医療研究センターおよび労働者健康福祉機構病院が使用する医薬品2357品目(購入)				
	東海・北陸(6県)に所在する国立病院機構病院・国立高度専門医療研究センターおよび労働者健康福祉機構病院が使用する医薬品2300品目(購入)				
	近畿(2府5県)に所在する国立病院機構病院・国立高度専門医療研究センターおよび労働者健康福祉機構病院が使用する医薬品2463品目(購入)				
	中国・四国(9県)に所在する国立病院機構病院および労働者健康福祉機構病院が使用する医薬品2170品目(購入)				
	九州・沖縄(8県)に所在する国立病院機構病院が使用する医薬品1989品目(購入)				
陸上自衛隊(入札説明書による)	アトルバスタチン錠10mg「EEJ」(1mg、100錠)1386EAほか28品目(購入)	—	5月18日	5月19日	契約締結日～17年3月31日
国立病院機構 新潟病院	清掃業務委託1式(購入)	—	5月19日	5月20日	7月1日～19年3月31日
東京医科歯科大学附属病院	内視鏡用超音波観測装置1式(購入)	4月13日	5月16日	6月1日	8月31日
関東労災病院	電気924万3306kWh(購入)	—	5月9日	5月9日	6月1日～5月31日
国立病院機構 相模原病院	院内清掃等業務委託1式(購入)	3月29日	5月13日	5月25日	7月1日～17年6月30日
国立病院機構 甲府病院	ガンマカメラ1式(購入)	—	5月12日	5月13日	8月31日
国立病院機構 舞鶴医療センター	マルチスライスCT1式(購入)	—	5月16日	5月19日	7月18日
京都大学附属病院	血液透析治療システム1式(購入)	—	5月9日	6月10日	9月30日
京都大学IPS細胞研究所	IPS細胞自動培養システム1式(購入)	—	5月9日	6月8日	17年3月31日
国立病院機構 大阪南医療センター	内視鏡症例単価払契約1式(借入)	—	5月16日	5月17日	6月1日～21年5月31日
国立病院機構 神戸医療センター	超音波内視鏡賃貸借および内視鏡保守業務1式(購入)	—	5月12日	5月13日	5月31日
高知大学附属病院	デジタルX線画像診断システム1式(借入)	4月15日	5月16日	6月6日	12月1日～22年11月30日
国立病院機構 熊本医療センター	庁舎電力959万742kWh(購入)	—	5月11日	5月13日	8月1日～17年7月31日
国立病院機構 南九州病院	放射線部門システム1式(購入)	—	5月16日	5月17日	6月30日

(了)

発行所 産業タイムズ社
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL 03-5561-3111 FAX 03-5561-3112
http://www.sangyo-times.jp/

医療産業情報

2016年(平成28年)4月1日(水曜日)第1206号

目次

● 巻頭記事 ●

車島不動産、シニア住宅と分譲マンションの複合大規模開発を17年有期業
介護ノ自立計257戸との営業事業新や多世代交流拠点を整備、複合2棟は棟高層10住戸増

3

● 病院施設整備 ●

八雲総合病院、リハビリ・透析・外来の設備工事を完了、17年3月竣工

4

四国労務センター、新築32戸完成、総合施設開業、共同コンクリート

5

公益医療長井病院、16年度に同様の設備更新、再収容後の収容率も

5

岐阜労務センター、改めて地域包括ケア推進事業、住家の改修に力を入れる

6

徳島済生会の医療、7年度に急病救急搬送センター、9年度に整備完了

6

西ノ原医療センター、改めて地域包括ケア推進事業、住家の改修に力を入れる

6

埼玉医大、順天堂大附属病院改修の用地取得に付帯計画を計上、17年度竣工

7

徳島大学、新築リハビリセンターに設備追加、41棟完成

7

自民不動産、東京・相模三浦地区で7月から新築分譲、ポイント購入

8

東京医、国産・福祉施設整備計画は28件、最大規模大規模改修が5病院

8

徳島済生会医療院、新築棟より2棟増築、施設整備に積極的姿勢

10

島田市民病院、新築施設を内線建築事業所に委託、新築手法が決定

11

甲府病院、新築は16年度に基本計画確定、整備地帯や事業計画を再見直し

11

滋賀労、甲府労務センターを改修工事と、緊急時の応用、リハビリ

12

群馬、新築施設を建設費を委託、基本計画は7月に7月完成

12

岩手、新築施設を、新築工事は材料変更し、予定、開業は12月13日

13

兵庫労、徳島労務センターは16年度基本計画、不妊症で妊娠C・妊娠検査

13

兵庫私立2施設建設

14

愛工会の新築施設開業、福島の移住施設は準備1年を控

14

徳島済生会医療院、新築棟より2棟増築、施設整備に積極的姿勢

15

四国労務センター、リハビリ棟の増築を計画、6月に基本計画が完了

15

徳島済生会医療院、新築棟より2棟増築の計画、17年度完成

16

熊本大、16年度に同規模改修工事に併せて新築工事も予定

16

大分労務病院、大規模改修1期工事を完了、予定額は147億円

16

ニュースファッション/公告

17

○付録掲載施設、冊子—1冊—巻 2016-2016/刊行発行所

2

○掲載施設掲載 2016年度刊行発行所

24

媒体名医療産業情報
発行日毎週金曜日発行
体 裁B5判 16頁以上
購読料66,000円 + 税 (年間、送料込み)

この PDF ファイルは株式会社産業タイムズ社が、サンプル閲覧用に作成したものです。
この書類の記事・写真画像等の著作権は株式会社産業タイムズ社、またはその情報の提供者に帰属します。
再配布にあたっては内容の改変を行わないでください。
Copyright (C) 2016 Sangyo Times, Inc. All rights reserved.